

Tradition and Modernity in Japanese Culture:

A Novelist's Perspective on Contemporary Japan

日時 2026年6月10日(水)
16:40~18:10

- 会場** 日進キャンパス7号館 732教室
- 開催** 世界教養学科、WLAC共催
- 対象** どなたでもご参加いただけます
- 定員** 30名
- 使用言語** 英語
- その他** 要申込、参加無料

申し込み方法

準備の都合がありますので、事前のお申込みをお願いいたします。
右記のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込んでいただくか、下記URLをパソコン等で直接入力して、申し込みフォームに必要事項を入力、送信してください。



<https://req.qubo.jp/wlac/form/20260610>

応募締切 6月8日(月) 15:00まで

応募者多数の場合は**先着順**とさせていただきます。
事前にご予約いただいた方につきましては、お席を確保いたします。
※当日の飛び込み参加も可能ですが、状況により、立ち見席でのご案内となる場合がございますので、予めご了承ください。

「日本」ってどんな国に見えるのでしょうか？

日本といえば伝統文化？

それともモダンでクールな都市文化？

名古屋での滞在経験が長く、現在はイタリアを拠点に、小説家、シナリオライター、ポッドキャストのホストなど、多彩な活躍を展開中のスコッティ氏が来日。

昨年邦訳が刊行された短編集

『亀たちの時間』(北代美和子訳、現代書館)には日本を舞台とした小説もあります。

本イベントでは、“Tradition and Modernity”が共存する「外からみた日本文化」について、自身の経験を交えながら語っていただきます。

Francesca Scotti フランチェスカ・スコッティ



ミラノ大学法学部 B.A.、Milano Conservatory オーボエ Diploma 取得後、作家として活躍。

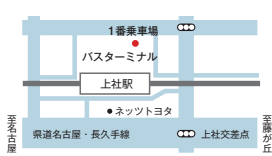
Qualcosa di simile (Renato Fucini 賞)、Incanto del buio (フランス語、中国語、韓国語に翻訳)、Il tempo delle tartarughe (『亀たちの時間』)、Shimaguni, Atlante narrato delle isole del Giappone など、日本を舞台としたものを含めて多数の小説を刊行。他、映画のシナリオライター、ポッドキャストのホスト、音楽プロジェクトのインタビュアーなど、イタリアで活動中。



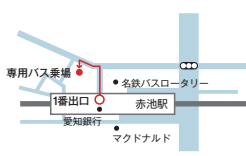
本学へのアクセスについて

当日、駐車場はありませんので公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス(無料)をご利用ください。

■ 上社駅乗車場案内



■ 赤池駅乗車場案内



イベントの開催にあたって

◎本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。イベント中は記録用として撮影を行います。本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載される場合がありますのでご了承ください。

問い合わせ先

名古屋外国語大学
ワールドリベラルアーツセンター
Tel :0561-75-2164(直通)
E-mail:
wlac_gg@nufs.ac.jp